6　Summary

⑴　Official in charge of disbursement of the procuring entity : SHINOMIYA Akihiro, Director of Muroran Development and Construction Department, Hokkaido Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

⑵　Classification of the services to be procured : 41

⑶　Subject matter of the contract :

①　Construction work of the Oseppugawa Bashi Chuou, Hidaka Expressway, Niikappu Town, Hokkaido, Japan

②　Construction work of the Oseppugawa Bashi Higashi, Hidaka Expressway, Niikappu Town, Hokkaido, Japan

⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 12 : 00 p.m. 29 July 2022

⑸　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system : 12 : 00 p.m. 14 October 2022 (tenders brought with 12 : 00 p.m. 14 October 2022 or submitted by mail 12 : 00 p.m. 14 October 2022)

⑹　Contact point for tender documentation : HAKOZAKI Kouji, Senior Officer of Contracts Division, Contracts Division, Muroran Development and Construction Department, Hokkaido Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism 1―14, Irie-Cho, Muroran, Hokkaido 051―8524, Japan TEL 0143―25―7027 ext. 410

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

本入札公告に記載の工事は、技術資料の内容が同一の２件の工事を対象に、一括して公告し、審査を実施する試行工事です。

本入札公告に記載の工事は、総合評価落札方式（技術提案評価型Ｓ型）「段階的選抜方式」、「新技術導入促進(Ⅰ)型」、「技術提案簡易評価型」、「余裕期間制度（フレックス方式）」、「建設業法第26条第３項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（特例監理技術者）の配置を認めない工事」である。

また、本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。

令和４年６月28日

支出負担行為担当官

関東地方整備局長　**廣**瀬　昌由

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　11

１　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名

①　Ｒ４荒川第二調節池下大久保上流工区囲繞堤工事（以下、「①工事」という。）

②　Ｒ４荒川第二調節池下大久保下流工区囲繞堤工事（以下、「②工事」という。）

（①工事、②工事共に電子入札対象案件）（①工事、②工事共に電子契約対象案件）

⑶　工事場所

①工事、②工事共に埼玉県さいたま市桜区下大久保地先

⑷　工事内容

①　工事　築堤・護岸（Ｌ＝約500m）　河川土工１式　盛土工　約129,000㎥　地盤改良工　１式　固結工（スラリー撹拌）　１式　法覆護岸工　１式　植生工　約25,000㎡　付帯道路工　１式　アスファルト舗装工　約4,000㎡　配管設置　約500m　埋設管対策工　１式

②　工事　築堤・護岸（Ｌ＝約700m）　河川土工　１式　盛土工　約196,000㎥　地盤改良工　１式　固結工（スラリー撹拌）　１式　法覆護岸工　１式　植生工　約37,000㎡　付帯道路工　１式　アスファルト舗装工　約5,000㎡　配管設置　約700m　埋設管対策工　１式

⑸　工期　本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、余裕期間を設定した工事である。詳細は入札説明書による。

全体工期：①工事、②工事共に契約締結の翌日から令和７年３月31日まで

⑹　使用する主要な資機材

①　工事　コンクリート　約3,800㎥、鉄筋　約380ｔ、地盤改良固化剤　約21,000ｔ

②　工事　地盤改良固化剤　約22,000ｔ

⑺　本工事は、入札時に技術提案［ＶＥ提案］を受け付けるとともに、「工事全般の施工計画」及び「賃上げの実施に関する評価」を求め、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する［総合評価落札方式（技術提案評価型Ｓ型）］の工事である。また、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の試行工事である。なお、本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。

⑻　本工事は、企業の技術力（技術提案［ＶＥ提案］、工事全般の施工計画及び賃上げの実施に関する評価を除く）及び配置予定技術者の技術力について記述した競争参加資格確認申請書（一次審査）（以下「一次審査申請書」という）及び競争参加資格確認資料（以下「一次審査資料」という）を提出した者のうち、評価点合計が上位の者に限り技術提案［ＶＥ提案］、工事全般の施工計画及び従業員への賃金引上げ計画の表明書等（以下「二次審査資料」という）の提出を求める段階的選抜方式の対象工事である。

⑼　本工事は資料提出、入札等を電子入札システムで行う対象工事である。ただし、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えるものとする。また、紙入札の承諾に関しては関東地方整備局総務部契約課に承諾願を提出するものとする。

⑽　本発注工事は、以下に示す試行等の対象工事である。詳細は、入札説明書別表―２による。

①　「ワンデーレスポンス」実施工事

②　完成時の工事成績評定の結果により、総合評価落札方式の加算点等を減ずる試行工事

③　工事コスト調査結果により、工事成績評定を減ずる試行工事

④　建設リサイクル法対象工事

⑤　総価契約単価合意方式

⑥　出来高部分払方式

⑦　「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」の設置対象工事

⑧　「設計審査会」の設置対象工事

⑨　現場代理人と配置予定の主任（監理）技術者の兼務を認めない試行工事

⑩　難工事施工実績評価対象工事

⑪　難工事功労表彰評価対象工事

⑫　ＩＣＴ活用工事【土工（発注者指定型）】

⑬　ＩＣＴ活用工事【地盤改良工（施工者希望Ⅱ型）】

⑭　ＩＣＴ活用工事【舗装工（施工者希望Ⅱ型）】

⑮　ＣＩＭ活用工事【発注者指定型】

⑯　工事工程表の開示試行工事

⑰　週休２日制適用工事【発注者指定方式】

⑱　新技術導入促進（Ⅰ）型

⑲　一括審査方式

⑳　技術提案簡易評価型

㉑　段階選抜一次審査選抜者数拡大

㉒　「生産性向上チャレンジ」試行工事

㉓　熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事

㉔　条件明示チェックリスト開示の試行工事

㉕　「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事

㉖　ＣＣＵＳ義務化モデル工事

⑾　本工事は、契約手続きにかかる書類の授受を電子契約システムで行う対象工事である。なお、電子契約システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙契約方式に代えるものとする。

２　競争参加資格

⑴　予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

⑵　関東地方整備局（港湾空港関係を除く。）における一般土木工事に係る一般競争参加資格の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、関東地方整備局長（以下「局長」という。）が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けていること。）。